

## 「子ども食堂」の認知度は8割で高止まり？

～コロナ禍で注目の「フードパントリー」、認知はこれから～  
全国1万人の意識調査

株式会社インテージリサーチ(本社:東京都東久留米市、代表取締役:小田切俊夫)は、自主企画「子ども食堂に関する意識調査」を実施しました。全国の16～79歳の男女1万802人を対象にしたインターネット調査で、子ども食堂とフードパントリー、フードバンク、フードドライブの認知度を尋ねたものです。

### <調査結果のポイント>

1. 「子ども食堂」の認知度は84.4%と、昨年度調査より約2ポイント増加
2. 「フードパントリー」の認知度は35.0%で、「名前も内容も知っている」割合はわずか1割
3. 50歳以上の女性と70歳以上の男性で「フードパントリー」の認知度が高い

### 【考察】

「子ども食堂」は、子どもが一人で行ける無料または低額の食堂。NPO法人「全国こども食堂支援センター・むすびえ」の調査結果<sup>※1</sup>によると、2018年に2286カ所だった子ども食堂の数は2019年に3718カ所と大幅に増加しており、活動が全国で広がっていることが分かります。

インテージリサーチは2018年3月、子ども食堂の認知度について初めて調査<sup>※2</sup>。その後、2019年3月に「フードバンク」や「フードドライブ」の認知度を加えた調査<sup>※3</sup>を実施しました。今回、それらの調査結果と比較したところ、子ども食堂の認知度は84.4%と、昨年の調査より2.3ポイントの増加に。また、性年代別の認知度を見ると、20～40歳代男性において低いことが分かりました。新型コロナウイルスの感染拡大により、子ども食堂に関連するニュースは増えています。しかし、むすびえ理事長の湯浅誠氏は「この年代の男性はそのようなニュースに触れる機会が少ないため、どのように活動を知ってもらうかが課題」と指摘しています。

また、コロナ禍により、子ども食堂の多くが休止を余儀なくされており、再開できない状況となっています。このような状況下で、「3密」を避けるために食材などの手渡し(以下、フードパントリー)やお弁当の配付に切り替えた団体も多いことが、むすびえの調査<sup>※4</sup>から明らかになっています。

今回の調査において、「フードパントリー」の認知度は35.0%であり、呼称自体がまだ広がっていないことが明らかになりました。また、フードパントリーという呼称を用いず、「食材の手渡し」などと表現する場面が多く見られ、「実際の取り組みと呼称が結びついていない」可能性も考えられます。その中で、50歳以上の女性や70歳以上の男性は、地域に関わる機会が多く、そこへの目配りを行っている年代と想定。そのため、地域で行われている活動として、フードパントリーへの認知が高くなっていると考えられます。

今後について、湯浅氏は、「コロナ禍において、子ども食堂やフードパントリーは『いざというときに支えてくれる存在』と広く認知されてきている。加えて、活動には多世代交流の側面があることも周知していきたい」と述べています。そのため、呼称だけではなく、子ども食堂やフードパントリーのような活動内容の認知が、さらに幅広い年代に拡大していくことが期待されます。

※1 「こども食堂1年で1.6倍、過去を上回るペースで増え続け、3700箇所を超える」 <https://musubie.org/news/993/>

※2 「子ども食堂、知っている? 運営に関わってみたい?」 <https://www.intage-research.co.jp/lab/report/20190227.html>

※3 「子ども食堂、知っている人が8割に」 <https://www.intage-research.co.jp/lab/report/20191011.html>

※4 「こども食堂の現状&困りごとアンケート」 <https://musubie.org/news/2601/>

分析者: 田守 綾(ソーシャル事業推進部)

### 【調査に関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージリサーチ 広報担当: 田守、和泉、錫木(すずき)

TEL: 03-5295-2432

サイト「お問い合わせフォーム」 <https://www.intage-research.co.jp/contact/index.php/input>

## <調査結果の詳細>

### 「子ども食堂」の認知度は 84.4%～前回調査より 2.3 ポイント増加

子ども食堂について認知度を聴取したところ、「名前を聞いたことがあり、内容も知っている」と「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」の合計は、84.4%になりました。2018年3月の調査結果と比べて12.2ポイント、2019年3月と比べて2.3ポイントの増加となっています。

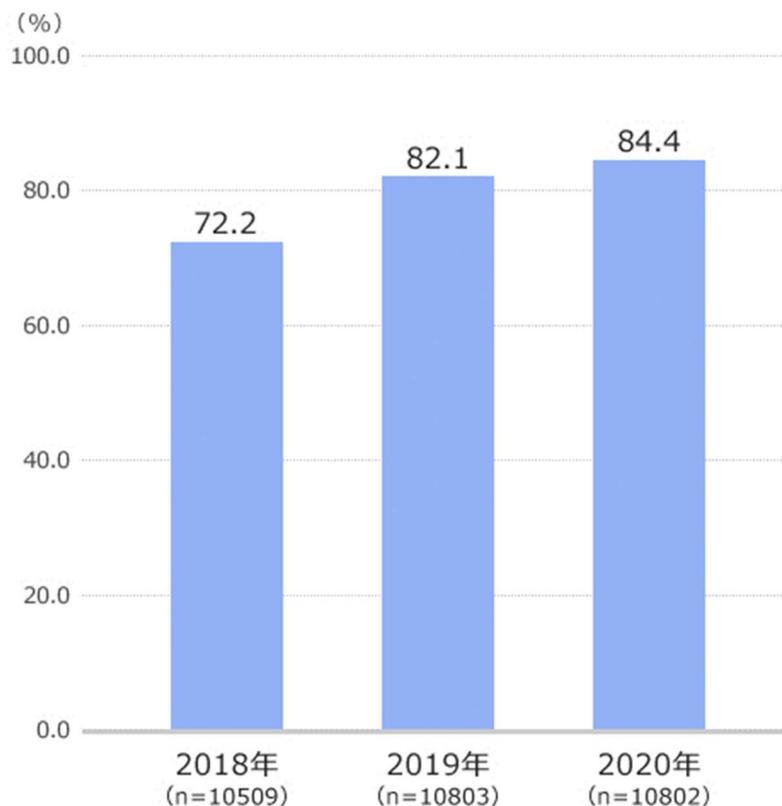
また性年代別に見ると<sup>※5</sup>、20～40歳代の男性の認知度が低くなっています。

このことから、子ども食堂の認知は高止まりしており、特に認知度が低い20～40歳代男性へのアプローチを検討する必要があると考えられます。

※5 性年代別のデータは「資料編」P.6(<https://www.intage-research.co.jp/lab/20201112.pdf>)をご覧ください

問 あなたは、子ども食堂の取り組みを知っていますか。

図表1：子ども食堂の認知度



※「名前を聞いたことがあり、内容も知っている」と「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」の合計を認知度として集計

※調査時に、子ども食堂の説明として「みんなで食卓を囲み、大人が手間をかけて調理してくれたあたたかな食事を無料または低価格で食べる場」と提示

© INTAGE GROUP

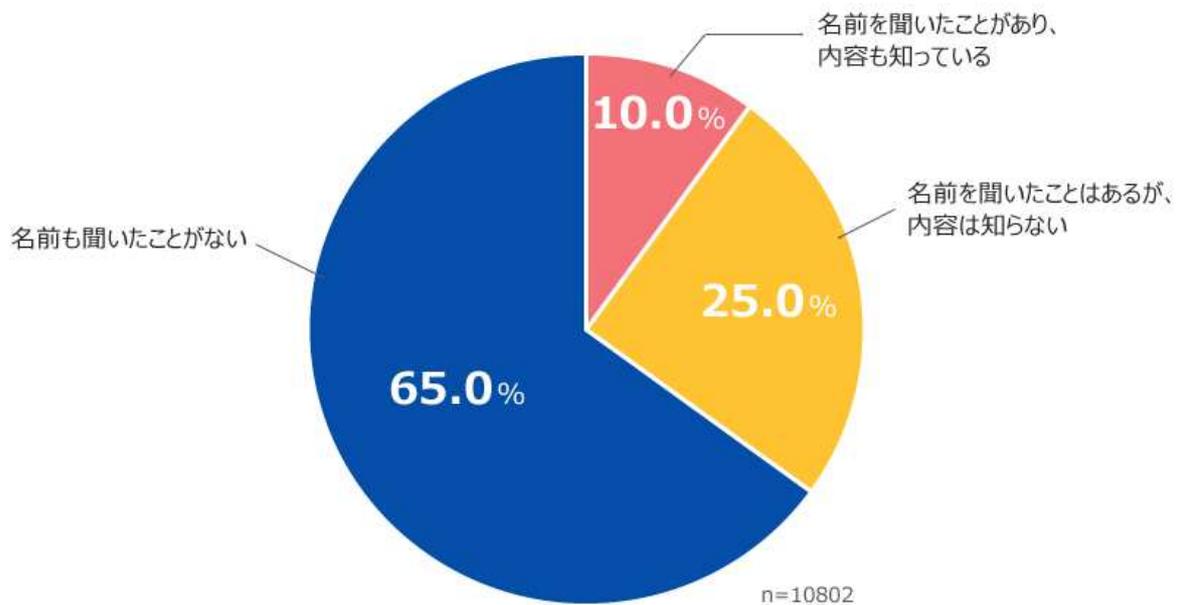
## 知られていない「フードパントリー」、認知度は 35.0%

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、2020 年は子ども食堂の実施が困難になったケースも多く、食事の提供に代わって、食材などを配布するフードパントリーの取り組みを始める団体も出てきました。

そこで、フードパントリーの認知度を聴取したところ、7 月末時点では、「名前を聞いたことがあり、内容も知っている」と「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」の合計は 35.0%となっており、子ども食堂よりも低い水準にとどまっていることが分かりました。

問 あなたは、フードパントリーの取り組みを知っていますか。

図表2：フードパントリーの認知度



※調査時に、フードパントリーの説明として「ひとり親や生活困窮者など、生活に困っている人びとに食料を無料で提供する活動」と提示

© INTAGE GROUP

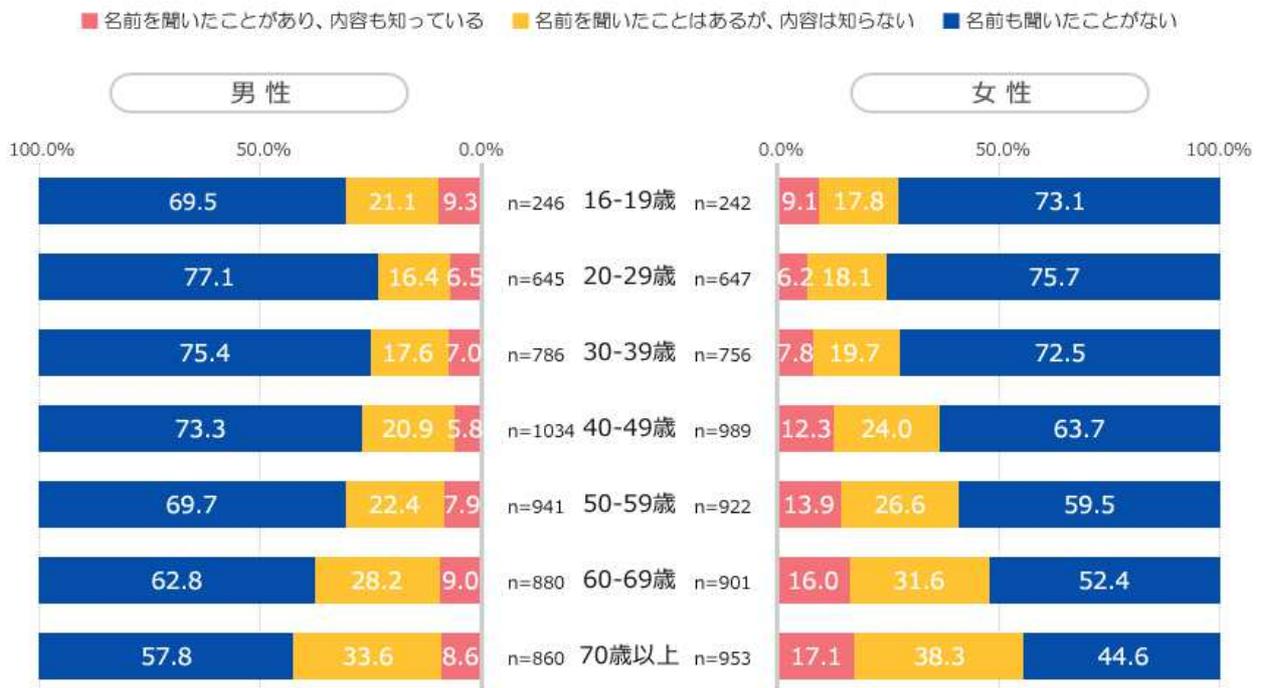
## 地域と関わる機会が多い年代ほど、「フードパントリー」の認知度が高い

フードパントリーの認知度を性年代別で見たところ、50歳以上の女性と70歳以上の男性で4割を超えていることが分かりました。

これらの年代は、若年層に比べて地域に関わる機会が多いと考えられるため、それがフードパントリーの認知度の高さに現れているのかもしれませんが。子ども食堂だけではなく、フードパントリーを通じた地域とのつながりが増えることで、子どもたちと関わる機会も増え、これらの世代が地域を支える中心的な役割を担っていくことが期待されます。

問 あなたは、フードパントリーの取り組みを知っていますか。

図表3：性年代別に見た、フードパントリーの認知度



※調査時に、フードパントリーの説明として「ひとり親や生活困窮者など、生活に困っている人びとに食料を無料で提供する活動」と提示

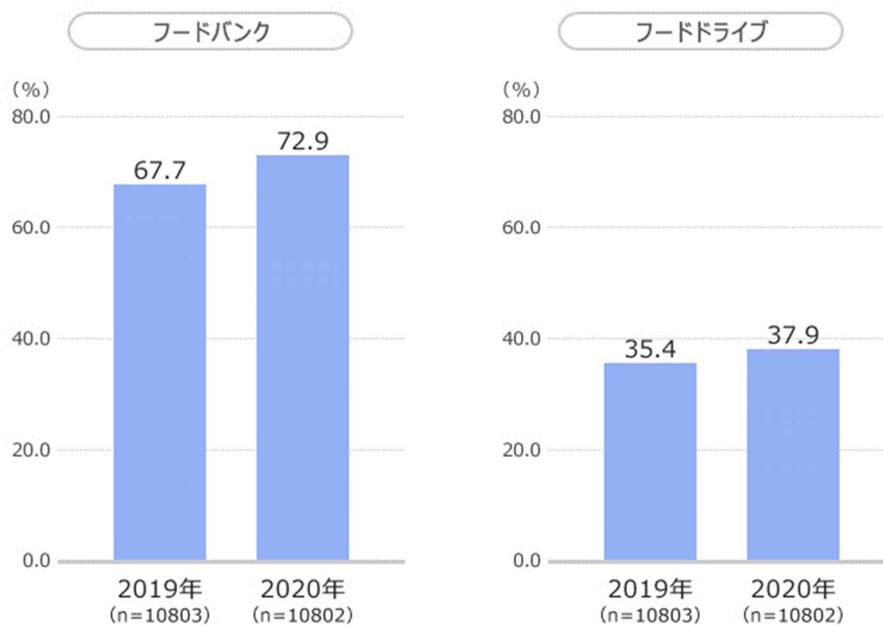
## 「フードバンク」の認知度は約 7 割、「フードドライブ」は 4 割弱

子ども食堂やフードパントリーと同様、食の支援の一つである「フードバンク」や「フードドライブ」についても認知度を調査。フードバンクは 72.9%、フードドライブは 37.9%となりました。

特に、フードドライブの認知度は、子ども食堂やフードバンクの半分程度にとどまっています。フードパントリーを含めて、「フード〇〇〇」という似たような呼称であることによって差別化できず、認知度の低さにつながっている可能性も考えられます。そのため、呼称だけではなく取り組み内容を含めた、今後の普及啓発が必要と考えられます。

問 あなたは、フードバンクやフードドライブの取り組みを知っていますか。

図表4：フードバンクとフードドライブの認知度



※「名前を聞いたことがあり、内容も知っている」と「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」の合計を認知度として集計  
 ※フードバンクの説明として「まだ食べられるのに、さまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている人や施設に届ける活動」と調査時に提示  
 ※フードドライブの説明として「家で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、まとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動」と調査時に提示

© INTAGE GROUP

### 【調査概要】

調査方法: インターネット調査

調査地域: 全国

調査対象者: マイティモニター 全国 16 歳以上 79 歳までの男女個人

サンプル構成: 平成 27 年国勢調査ベース (性別 × 年代別 × 居住エリア × 未既婚) 母集団準拠

設計数: 10,802 サンプル

調査期間: 2020 年 7 月 31 日 (金) ~ 8 月 3 日 (月)

調査内容: 子ども食堂・フードパントリー・フードバンク・フードドライブの認知度

調査実施機関: 株式会社インテージリサーチ

【株式会社インテージリサーチ】 <http://www.intage-research.co.jp/>

株式会社インテージリサーチ (本社: 東京都東久留米市、代表取締役: 小田切俊夫) は、インテージグループの一員として、社会・公共領域をテーマとした調査研究、公的統計調査の受託や民間の市場調査のデータ収集を行っています。

## <資料編>

本編内に掲載できなかった集計表を資料編としてご紹介します。

セルの色分けは TOTAL と比較し、5%ポイント、10%ポイント、20%ポイントの差異がみられる選択肢を3段階に分けて色付けしています。色とポイント差の関係は下記の凡例をご覧ください。

### <凡例>

 +5%ポイント以上	 +10%ポイント以上	 +20%ポイント以上
 -5%ポイント以下	 -10%ポイント以下	 -20%ポイント以下

### (子ども食堂の認知度)【性年代別】

1段目 度数 2段目 横%	TOTAL	名前を聞いた ことがあり、 内容も知って いる	名前を聞いた ことはある が、内容は知 らない	名前も聞いた ことがない
TOTAL	10802 100.0	4767 44.1	4350 40.3	1685 15.6
男性16-19歳	246 100.0	80 32.5	95 38.6	71 28.9
男性20-29歳	645 100.0	156 24.2	235 36.4	254 39.4
男性30-39歳	786 100.0	243 30.9	317 40.3	226 28.8
男性40-49歳	1034 100.0	371 35.9	442 42.7	221 21.4
男性50-59歳	941 100.0	366 38.9	406 43.1	169 18.0
男性60-69歳	880 100.0	360 40.9	425 48.3	95 10.8
男性70歳以上	860 100.0	337 39.2	436 50.7	87 10.1
女性16-19歳	242 100.0	117 48.3	62 25.6	63 26.0
女性20-29歳	647 100.0	280 43.3	216 33.4	151 23.3
女性30-39歳	756 100.0	379 50.1	278 36.8	99 13.1
女性40-49歳	989 100.0	529 53.5	378 38.2	82 8.3
女性50-59歳	922 100.0	539 58.5	327 35.5	56 6.1
女性60-69歳	901 100.0	500 55.5	352 39.1	49 5.4
女性70歳以上	953 100.0	510 53.5	381 40.0	62 6.5

(フードバンクの認知度)【性年代別】

1段目 度数 2段目 横%	TOTAL	名前を聞いた ことがあり、 内容も知って いる	名前を聞いた ことはある が、内容は知 らない	名前も聞いた ことがない
TOTAL	10802 100.0	3605 33.4	4270 39.5	2927 27.1
男性16-19歳	246 100.0	58 23.6	85 34.6	103 41.9
男性20-29歳	645 100.0	111 17.2	216 33.5	318 49.3
男性30-39歳	786 100.0	180 22.9	269 34.2	337 42.9
男性40-49歳	1034 100.0	277 26.8	393 38.0	364 35.2
男性50-59歳	941 100.0	287 30.5	390 41.4	264 28.1
男性60-69歳	880 100.0	296 33.6	410 46.6	174 19.8
男性70歳以上	860 100.0	272 31.6	458 53.3	130 15.1
女性16-19歳	242 100.0	80 33.1	73 30.2	89 36.8
女性20-29歳	647 100.0	160 24.7	208 32.1	279 43.1
女性30-39歳	756 100.0	252 33.3	268 35.4	236 31.2
女性40-49歳	989 100.0	389 39.3	368 37.2	232 23.5
女性50-59歳	922 100.0	405 43.9	363 39.4	154 16.7
女性60-69歳	901 100.0	395 43.8	371 41.2	135 15.0
女性70歳以上	953 100.0	443 46.5	398 41.8	112 11.8

(フードドライブの認知度)【性年代別】

1段目 度数 2段目 横%	TOTAL	名前を聞いた ことがあり、 内容も知って いる	名前を聞いた ことはある が、内容は知 らない	名前も聞いた ことがない
TOTAL	10802 100.0	1293 12.0	2796 25.9	6713 62.1
男性16-19歳	246 100.0	25 10.2	63 25.6	158 64.2
男性20-29歳	645 100.0	41 6.4	120 18.6	484 75.0
男性30-39歳	786 100.0	62 7.9	141 17.9	583 74.2
男性40-49歳	1034 100.0	80 7.7	235 22.7	719 69.5
男性50-59歳	941 100.0	89 9.5	237 25.2	615 65.4
男性60-69歳	880 100.0	91 10.3	267 30.3	522 59.3
男性70歳以上	860 100.0	103 12.0	297 34.5	460 53.5
女性16-19歳	242 100.0	23 9.5	53 21.9	166 68.6
女性20-29歳	647 100.0	49 7.6	116 17.9	482 74.5
女性30-39歳	756 100.0	79 10.4	142 18.8	535 70.8
女性40-49歳	989 100.0	130 13.1	252 25.5	607 61.4
女性50-59歳	922 100.0	138 15.0	267 29.0	517 56.1
女性60-69歳	901 100.0	167 18.5	278 30.9	456 50.6
女性70歳以上	953 100.0	216 22.7	328 34.4	409 42.9